

ファイヤープログラム

(キャンプファイヤー・キャンドルファイヤー)

1 意義と役割

- ・真っ暗な闇と炎の対照。炎を囲んでの友との語り、力いっぱい歌い踊る躍動感、そしてしばし沈黙して自己を振り返る。ファイヤープログラムは、感性豊かな子どもたちの心を開き、共に感動を味わう絶好の活動である。
- ・屋外で、大きな火を囲んでダイナミックな活動が期待できるキャンプファイヤー。屋内で、静かに心に染み入る幻想的なキャンドルファイヤー。それぞれ一長一短があるため、活動の目的や、活動参加者の構成に応じて組み入れると良い。

2 プログラムの流れ

本来、定型といわれるものはないが、意義をふまえ単なるお祭り騒ぎにならないように以下のような三部構成で行うのが一般的である。

- 第1部「点火のセレモニー」（厳粛な雰囲気の中で）
- 第2部「交流のつどい」（歌唱、スタント、ダンスなどのレクリエーション）
- 第3部「消火（分火）のセレモニー」（再び厳粛な雰囲気です）

3 運営のポイント

- ・静→動→静という雰囲気のカーブを意識する。
- ・日常生活とは異なる雰囲気を醸し出す。
- ・それぞれの団体の性質を考えて独自のプログラムを考える。
(各団体の団体指導者、活動参加者による企画・運営)

4 事前の準備

- ・プログラムの検討、役割分担
- ・シナリオ作成（歌やスタントの練習、準備）
- ・資材の準備（貸出し）、場所の選定
- ・安全確保の確認

5 活動終了後の流れ

- ・参加者の誘導
- ・消火と片付け
- ・用具の返却

キャンプファイヤー

【活動可能人数：制限なし】

【活動時間（めやす）：1～2時間】

1 実施時期

4月から10月まで（実施不可：11月から3月まで）

2 準備物

○本所が用意できる物

表1

◇無料で貸出し可

- ①衣装（火の神、火の巫女） ②神の杖 ③ライター ④新聞紙（着火用）
⑤バケツ（消火用） ⑥スコップ

- ・①～④は事務室で受け取る。⑤⑥は、薪等と一緒にリアカーに積んである。
- ・活動場所の浜には電源がないため、アンプ等を利用する場合は電池等の電源の用意が必要となる。電源延長コードは危険なため使用できない。
- ・アンプ（CDデッキ）は貸出可能だが、団体に乾電池（単1：8つ）を用意する必要がある。

◇有料で提供できる物

- ⑦薪（1本 220円） ⑧焚きつけ少々（薪とセットで提供） ⑨灯油（120円／1L）

- ・⑦⑧はリアカーに積んである。⑨は事務室で受け取る。
- ・推奨の薪本数は12本、灯油は1Lです。

○本所で用意できない物

点火、分火用のトーチ、投光器、懐中電灯

3 事前準備

(1) 実施判断

- ・雨天時、強風時は活動できない。最終的な実施判断は、活動直前（夕食後）に事務室前で行う。あらかじめ準備をしても、中止判断となる場合がある。

(2) 場所の選定

- ・活動場所は、青少年の家前の石津浜。特に指定の場所はないため、各団体が決める。火の粉が飛ぶ場合があるため、風があるときには風下にはいない方が安全である。また、砂地の方が後片付け等をしやすい。

(3) 資材の運搬と薪の準備

- ・リアカーに積んだ状態で資材を提供する。自転車置き場から各団体が運び、準備を行う。明るいうちに準備をする方が安全である。

4 後片付けについて

- ・表1 ①～③及び⑨の物品は、事務室に返却する。

- ・表1 ⑤⑥の物品は、リアカーごと自転車置き場に返却する。

- ・薪は完全に燃やしきり、灰だけにして、水をかけて完全に消火する。その後、穴を掘り灰を埋める。

※薪が完全に燃え尽きるまでは、相当の時間（2～3時間程度）を要しますが、最後まで責任をもって現場での監視をお願いします。

- ・後片付け終了後は、所員に知らせる。

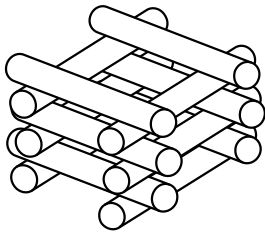
5 翌朝の現場確認について

翌朝にも、必ず現場を確認する。忘れ物、後始末の様子を再度確認する。

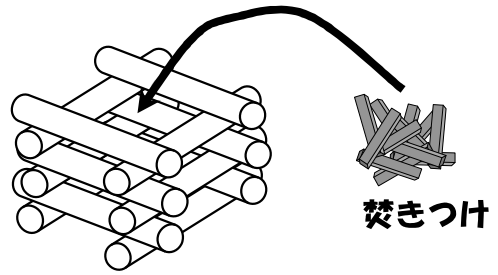
6 その他

- ・海岸は漁港管理事務所から使用許可をとり、使用している。「来たときよりも美しく」を合い言葉に、気持ちのよい活動を心がける。
- ・活動後は大変暗くなるため、落とし物や忘れ物、怪我のないよう注意する。

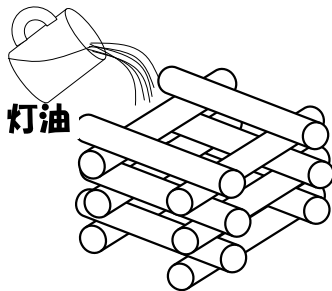
キャンプファイヤーの手順と注意



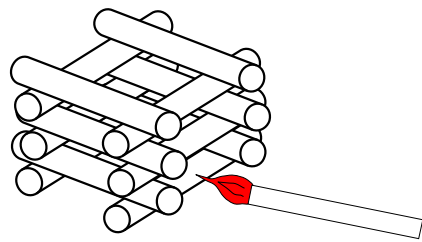
① 12本の薪を井形に組みます。



② こっぱを下の方に置きます。



③ 灯油をまんべんなく、かけます。



④ 下から火をつけます。

◇ファイヤーキーパー（火の係）を必ず決めましょう。

火をつけると、灯油の勢いでバァーっと燃えますが、放置すると表面だけ燃えて終わってしまいます。

◇風向きを考えて、配置を決めましょう。

火の粉も多少飛びます。

◇薪は最後まで燃やしきってください。※使用した薪は返却できません。

キャンプファイヤーが終了しても薪が燃え尽きるまで必ず団体指導者1人以上は浜に残り、消火を見届けてください。

◇灰はスコップで穴を掘って埋めてください。

状況にもよりますが、約2時間ほどで燃え尽きます。

◇最後に水をたっぷりかけてください。

海岸は、許可を得て、使用しています。

“来たときよりも美しく” という気持ちを忘れないでください。